

彼方 「かなた」

校長通信
H25.4.25
Vol.4

「一年生校外学習で伝えたかったこと」



二十四日（水）に茨城県にあるポテイロンの森で一年生の校外学習を実施しました。中学校生活がスタートしてまだ二週間、新しい仲間ができ、ワクワクしながら毎日を送っています。そんな中で

校外学習、ねらいはもちろん「仲良くなる」こと。しおりの目標もそんな気持ちが素直に表現されていました。

「みんなで協力し、クラス・学年の団結を深めよう」しおりの私の言葉にもそんな願いを込めて、次のように書きました。

「見ているようで見ていない！」

新しい仲間、新しい先生、新しい学校との「出会い」はうまくいきましたか？「思っていた通り！」と感じる人も、「思っていたのとちよつと違っていたかも…。」と感じる人もいます。いずれにしても湖北中学校での生活が始まって二週間が過ぎ、もう



挨拶をしたり、人と接したりすることの大切さを学んで欲しいのです。自分の「笑顔」が周りを明るくし、良い人間関係をつくることを学んで欲しいのです。

もうひとつは、「仲間を認めること」です。仲良くするためには、相手の良さをできるだけ沢山見つけることが大切です。

「認める」というのは、事実を見て、心に留める「見+留める」ことです。友だちの頑張っている姿を見て、心に留めるこ

とが良い人間関係をつくる第一歩です。ところが人間の目は不思議なもので見ているようで案外見ていないことが多いのです。嫌な面や悪いところは直ぐに目につきますが、「良さ」は見ようとしないと見



すぐ部活動も始まります。どうせ過ごすなら仲間と一緒に、元気に楽しく過ごせる三年間にしたいと思いませんか？そこで、校外学習を通して一年生の皆さんに学んで欲しいことが二つあります。

ひとつは、「笑顔の大切さ」です。明るい笑顔で

飯ごうのご飯を自分たちで残さず食べ、女子や私には良くできた飯ごうのご飯と軟らかめのところを盛りつけてくれました。

女子は女子でおこげの部分をはぎ取るようにして完食しました。みんなで目をショボショボさせながら苦労して作ったカレーライスは家では味わえない思い出の味になりました。また、パン作り体験もアンパンマンやメロンパン、楽器にパンダ…、

思い思いに工夫し、できあがりを楽しんでいました。どの班も「笑顔」が沢山溢れていました。

雨の中の校外学習でしたが、それぞれの良さを発揮し、みんなで協力しながら活動する姿は、出発前に掲げた目標をみごとにクリアしたのではないかと思います。

毎日の生活の中で当たり前のようにあることに感謝でき、笑顔を見つめるアンテナが立てられる湖北中生徒になって欲しいと願っています。



私が入った一組二

えません。逆に自分の良さも積極的に仲間に表示しなないと見てももらえないということです。

何もせずに人間関係が深まることはありません。自分の良さを積極的に表現し、相手の良さを認めることが楽しい三年間をつくるのです。

私が入った一組二

班の男子は、堅かった飯ごうのご飯を自分たちで残さず食べ、女子や私には良くできた飯ごうのご飯と軟らかめのところを盛りつけてくれました。

女子は女子でおこげの部分をはぎ取るようにして完食しました。みんなで目をショボショボさせながら苦労して作ったカレーライスは家では味わえない思い出の味になりました。また、パン作り体験もアンパンマンやメロンパン、楽器にパンダ…、

思い思いに工夫し、できあがりを楽しんでいました。どの班も「笑顔」が沢山溢れていました。

雨の中の校外学習でしたが、それぞれの良さを発揮し、みんなで協力しながら活動する姿は、出発前に掲げた目標をみごとにクリアしたのではないかと思います。

毎日の生活の中で当たり前のようにあることに感謝でき、笑顔を見つめるアンテナが立てられる湖北中生徒になって欲しいと願っています。

毎日の生活の中で当たり前のようにあることに感謝でき、笑顔を見つめるアンテナが立てられる湖北中生徒になって欲しいと願っています。

燃えろー!

うまく炊ける
かなー?

ペロリ!!!

最後の片付け!
来たときよりきれい!

いい笑顔で!
ピース!!

焦げる!!

煙い!!

みんなで協力し、クラス・学年の団結を深めよう